

## 平成 28 年活動報告（平成 28 年 1 月～12 月）

### 1 主な活動

- (1) 院内感染等対策地域ネットワーク連絡会議（年 1 回）
- (2) 管内医療施設間の勉強会（年 4 回）
- (3) ワーキングチーム会議（年 4 回）
- (4) 地域アンチバイオグラム研究事業の取組
- (5) 院内感染対策研修会（年 1 回）
- (6) 情報提供事業
  - ①感染症情報メール配信（2 週 1 回程度）
  - ②ネットワーク以外への情報発信

### 2 活動内容

#### (1) 第 5 回院内感染等対策地域ネットワーク連絡会議

日 時：平成 28 年 1 月 22 日（金曜日）17：00～18：00

会 場：レイクエコー 講座室 1

出席者：9 名（連絡会構成員 5 名，事務局員 3 名，オブザーバー 1 名）

議 題：①平成 27 年活動報告

②平成 28 年活動計画

③アンチバイオグラム事業報告（茨城県立医療大学 桜井直美 准教授）

#### (2) 管内医療施設間の勉強会

##### 【第 1 回】

日 時：平成 28 年 3 月 24 日（木曜日）15：00～17：00

会 場：土浦協同病院 なめがた地域医療センター 3 階 会議室

出席者：18 名

議 題：血液培養に関する勉強会

講師 上岡奈実 ICN、長峯裕二（土浦協同病院 なめがた地域医療センター）

##### 【第 2 回】

日 時：平成 28 年 7 月 21 日（金曜日）15：00～17：00

会 場：土浦協同病院 なめがた地域医療センター 3 階 会議室

出席者：19 名

議 題：感染症患者のケーススタディ～外来受診から治療に至るまでの感染対策実践～

講師 上岡奈実 ICN、樗木智聡、長峯裕二

（土浦協同病院 なめがた地域医療センター）

##### 【第 3 回】

日 時：平成 28 年 10 月 7 日（金曜日）16：30～18：00

会 場：介護福祉施設 かすみがうら

出席者：16 名（介護施設職員 3 施設 7 名参加）

議 題：介護施設における環境ラウンドおよび施設見学会

講師 土浦協同病院 なめがた地域医療センター ICN 上岡奈実

【第4回】

日 時：平成28年12月16日（金曜日）15：00～17：00

会 場：土浦協同病院 なめがた地域医療センター 3階 会議室

出席者：17名

議 題：①アウトブレイク疑い事例検討会

②各施設の問題点に関するQ&A

③平成27年総括（各施設発表形式）

(3) ワーキングチーム会議

役 割：①院内感染等対策地域ネットワーク連絡会管内医療機関間における勉強会の計画立案

②管内医療機関間勉強会当日の運営

③ネットワーク連絡会事務局との連絡・調整

④その他ネットワーク連絡会に関すること

開 催：管内医療機関間における勉強会開催後に実施。

4回（平成28年3月24日（木）、7月21日（金）、10月7日（金）、12月16日（金））

本年から銚田病院が参加できなくなり高須病院と当院のメンバーで企画立案した。

(4) 活動計画における基本的事項

地域アンチバイオグラム研究事業の取組

昨年3施設あった研究事業だが銚田病院が参加できなくなり2病院（鹿島労災病院・なめがた地域医療センター）からの菌株とデータを用いてアンチバイオグラムの作成に取り組んだ。参加数が少ないため新たな試みを開始している。

(5) 第4回院内感染対策研修会

日 時：平成28年1月22日（金曜日）18：30～20：30

会 場：レイクエコー 多目的ホール

参加者：鹿行地域の医療機関医療従事者等 101名

演題：ワクチンに関する最近のトピックス

講師：多屋馨子先生（国立感染症研究所 感染症疫学センター）

(6) 情報提供事業

①感染症情報メール配信

初回配信：平成24年2月10日（木曜日）

配信回数：平成28年 定期31回 臨時0回

配信内容：

<定期> ・保健所管内の感染症発生状況

(感染症サーベイランス, 学校欠席者サーベイランス情報)

- ・ 感染症流行情報
- ・ 院内 (施設内) 感染アウトブレイク情報 等

## ② ネットワーク以外への情報発信

「鹿行地域感染等対策ネットワーク連絡会」のバナー (土浦協同病院 なめがた地域医療センターホームページ内) への掲載。

## 3 結果

- 平成 28 年は勉強会形式で 3 回、介護施設ラウンド 1 回 (計 4 回) の企画運営を行うことができた。今までの活動を通して横の繋がりができ、知識向上はもちろん、活発な意見交換ができたと考えている。また、介護施設のラウンドも昨年同様開催できたことは、施設の感染対策を学べたと同時に自施設の対策を見直すよい機会となったと考えている。
- 平成 28 年名称も変更し、より多くの施設に参加いただけるよう活動してきたつもりであるが、思った以上に参加頂ける施設がなかった。そのなかでも、潮来保健所管内である白十字病院に参加いただけたのは、今後の活動におおいにプラスになると考えている。
- 地域アンチバイオグラム研究事業は茨城県立医療大学 桜井直美 准教授を中心に本年も遂行し、データの蓄積が出来てきた。桜井准教授のご尽力により、他の医療機関データを収集する体制が構築されつつある。

## 4. 今後の課題

- 参加医療機関の増加が伸び悩んでいる。個別に参加を呼びかけるのが良いかと考える。
- 介護施設のラウンドを実施したが参加者が予想以上に少なかった。近隣の介護施設で勉強会を開催しているようなので、日程を調整して本年も他施設ラウンドを計画したい。
- いつも当院担当者が主導で勉強会を実施しているが、他施設の方にも発表していただくなど協力を呼びかけたい。
- 感染対策について気軽に質問できるように、当院のホームページ上から入力できるシステムを構築し、地域医療に貢献する。